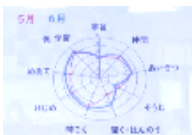




- (1) ねらい 学級としての課題を見つけ、解決方法について話し合い、個人目標を決定することができる。
 (2) 評価規準 題材について自分の考えをもち、よりよい解決方法を考え、判断している。(思考・判断・表現)
 (3) 学習展開 (2/2)

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	<p>1 学級の現状を把握し、本時の見通しをもつ。 ・事前アンケートの結果(6月の学級力表)から、掃除項目の数値が低いことに目を向ける。</p>  <p>2 話し合いのめあてをもつ。 そうじこう目の数値が上がるよう、かいつ方法話し合おう。</p>	<p>【ICT活用の工夫】 ・事前アンケートの結果をグラフで提示し、視覚的に分かりやすいようにする。</p>
展開	<p>○なぜ掃除の姿をよりよくしたいのか理由を考え、思いを交流する。 ・自分達が任されているから。・汚い場所で生活したくないから。 ・気持ちよく過ごしてほしいから。</p> <p>3 個人追求・全体追求① 【個人追求】 ○なぜ、掃除の項目の数値が下がった(または数値が低いまま)のか理由や原因を探る。 ・どのような場面で、そのような姿だったのか具体的な場面を想起して、協働学習支援ツール(個人シート)に記入する。</p>  <p>【全体追求①】 ・話したり、ふざけたりしてしまう。 ・時間までに全てがやりきれない。 など。</p>  <p>4 グループ追求・全体追求② ○解決方法を考える。 ・面倒だけれど任されていることだから、時間いっぱい最後まで。 ・静かに時間いっぱい掃除がしたいから、注意が必要な時に一度だけ。 ・すみずみまできれいにしたいから、物をどかしたり、下にほうきを入れたりして時間いっぱい手を動かす。 ・時間までに全てをやり切り、きれいにしたいから掃除長の指示を聞いてすぐ動く。 ・教室をきれいにしてみんなが気持ちよく過ごせるようにしたいから、見つけ掃除でドアレールをはく。</p>	<p>・数値の低い項目についてなぜ数値を上げたいのか理由を問い、話し合いの必然性をもたせる。</p> <p>【ICT活用の工夫】(個人追求①) ・個人追求における自分の考えを個人シートに記入する。(協働学習支援ツール)</p> <p>【ICT活用の工夫】(全体追求①・②) ・一人一人の考えをキーワード化し、クラス全体の考えの傾向をつかむ。(キーワード可視化機能)</p> <p>・キーワードをもとに、その原因が起こるきっかけやその時の様子を問い返し、具体的な姿を振り返る。</p>
終末	<p>5 自分の解決方法を決める。 ・全体での話し合いを生かして、自分に合った目標を決める。 すみずみまできれいにしたいから、物をどかしたり、下にほうきを入れたりして時間いっぱい手を動かす。</p> <p>6 目標を全体交流する。</p>	<p>【ICT活用の工夫】(全体追求①・②) ・複数の考えを比較表示し、共通点や相違点を明らかにし、考えを広げたり深めたりする。(比較機能)</p> <p>【ICT活用の工夫】(個人追求②) ・協働編集機能において、多様な考えに触れ、自分の考えを広げたり、深めたりしながら、考えをもてるようにする。(共同編集機能)</p> <p>・他グループの考えを閲覧し、参考にして考えをもてるようにする。</p> <p>・これまでの頑張りを価値付け、学級目標を達成したいという意欲を高められるようにする。</p>

【検証：期待される学習効果】

- ・先月と今月の意識について、アンケート機能を用いてレーダーチャートに示すことで、取組の様子を視覚的に把握することができる、本時の課題を焦点化することができる。
- ・スクールタクト上で、個人追求時の考えを記入させ、「ワードクラウド機能」を用いることで、考えがキーワード化できるとともに、クラスの傾向を視覚的に捉えることができ、話し合いの焦点化にとっても有効的である。
- ・キーワード化されたものを基に、同じような考えを比較し、具体的な考えを発表させることで、共通点や相違点を明らかにしたり、その考えに込められた思いや願いを共有したりすることができる。
- ・共同編集機能を活用することで、全体追求をスムーズに行うことができる。また、常に仲間の考えに触れることができるため、自分の考えに固執せず、考えを広げたり深めたりすることができる。